

令和5年度 大船渡湾水環境保全計画 実施計画実績報告

大船渡湾水環境保全計画推進協議会

大船渡湾水環境保全計画施策体系図

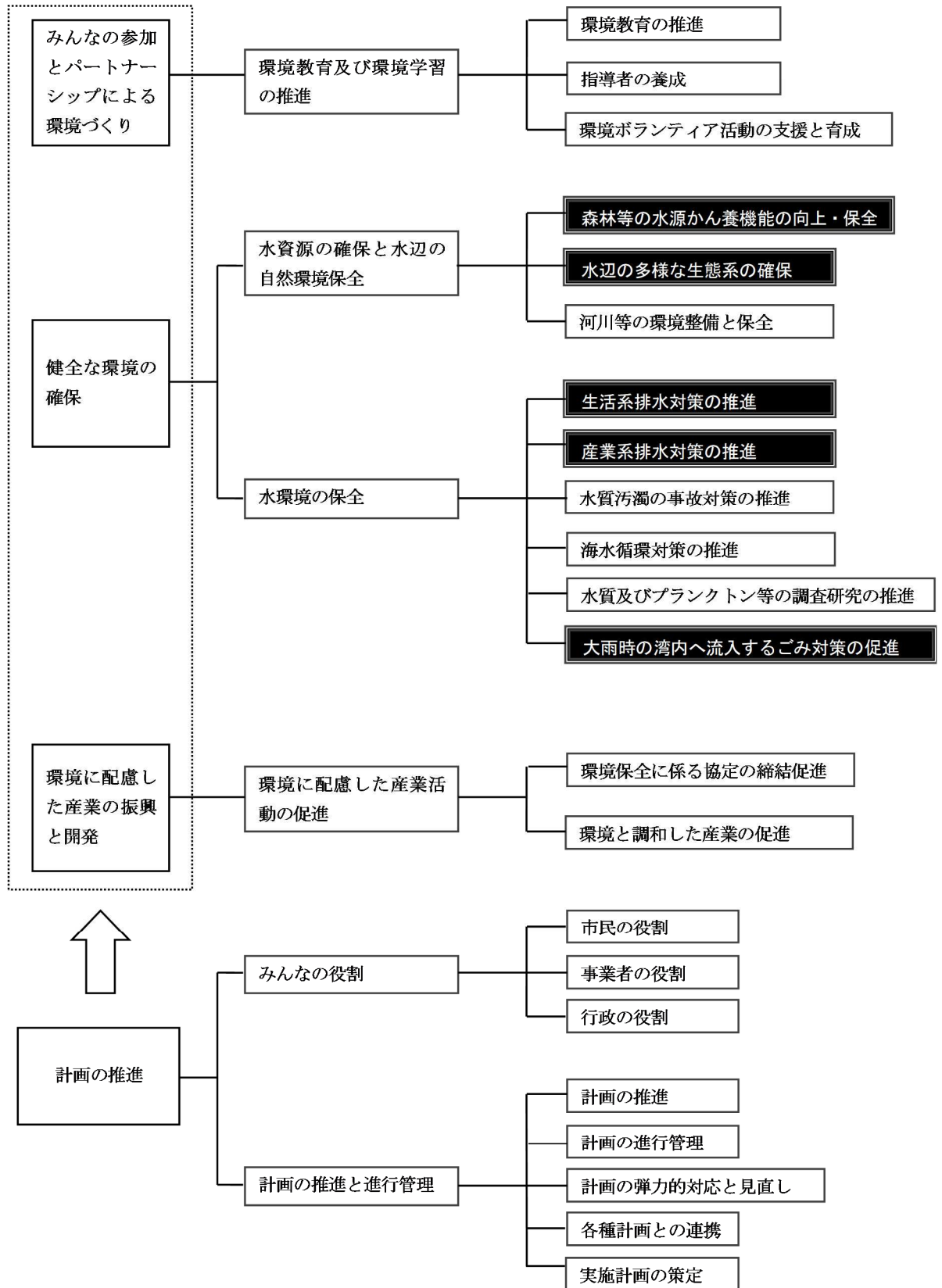
基本目標

基本方向

施策目標

施策の方向

みんなで環境と共生した心豊かな地域社会を築き
良好な大船渡湾の水環境を将来の世代に継承する



※白抜きは重点施策

令和5年度大船渡湾水環境保全計画実施計画の主な実績

I みんなの参加とパートナーシップによる環境づくり

1 環境教育及び環境学習の推進

(1) 環境教育の推進

【各学校実施】

市内小学校において、河川の水質調査、水生生物調査を実施することで、水環境保全について理解を深めた。(実施:5校・大船渡小、赤崎小、猪川小、立根小、日頃市小)

市内小中学校において、川や河川敷等の清掃を実施することで、地域の環境美化及び環境保全意識の啓発が図られた。(実施:4校・立根小、越喜来小、第一中、大船渡中)

門之浜湾内養殖場で行うわかめの養殖体験及び国有林での造林体験を通じ、環境保全と湾浄化の大切さについて理解を深めた。(実施:末崎中)

令和5年度は、小中学校における環境教育の取組件数が、前年度の9件から10件に増加した。

(2) 指導者の養成

【県実施】

県機関及び市町村の関係職員等を対象に、岩手県環境アドバイザーを講師として、水生生物調査研修会を開催し、調査の普及啓発や指導に必要な知識・技術の習得を図った。

(3) 環境ボランティア活動の支援と育成

【市・各種団体実施】

市内各種団体による道路、河川、海岸等の清掃ボランティア活動に対し、啓発用品(手袋)やゴミ袋を配布する等、ボランティア活動を支援した。(実施:8団体、ゴミ袋配布数:760枚)

対前年度比で清掃ボランティア実施団体数が2減となったが、複数回清掃活動を行う団体もあることから、ゴミ袋配布数は80枚増加した。

II 健全な環境の確保

1 水資源の確保と水辺の自然環境保全

(1) 森林等の水源かん養機能の向上・保全(重点施策)

【市実施】

大船渡市森林整備計画により、森林経営計画の作成に当たり、森林所有者に対して森林の整備目標や保全すべき森林等の区分を示す等指導や助言を行い、森林の適正な管理を促進した。(指導回数:1回)

市有林の間伐等を実施し、森林等の水源かん養機能の向上・保全に努めた。(実施面積:59.1ha)

(2) 水辺の多様な生態系の確保(重点施策)

【各学校実施】

水生生物の生息環境の保全等のため、市内小中学校において、河川の水質調査、水生生物調査、川や河川敷等の清掃を実施した。(実施:延べ9小中学校)

(3) 河川等の環境整備と保全

【市実施】

快適な生活環境を確保するため、一般家庭の周辺、地域の道路・側溝、河川等を対象とする市内一斉清掃を実施した。(参加者数:7,446人)

2 水環境の保全

(1) 生活系排水対策の推進（重点施策）

【市・各種団体実施】

公共下水道の整備・拡大に向け、大船渡町、猪川町及び立根町で管渠整備等を行った。（整備面積:7.32ha、令和5年度末の整備対象人口における公共下水道普及率78.4%、汚水処理人口普及率77.1%）

衛生監視員によるパトロールを行い、海岸・河川付近等に不法投棄されたごみを回収した。（衛生監視員34人）

海や河川への不法投棄等の未然防止のため、大船渡市公衆衛生組合連合会及び大船渡市環境保全推進協議会において啓発看板を13基、不法投棄防止ネットを1か所（猪川町字今出）に設置した。

生活排水対策として、浄化槽設置者に対して補助金を交付し、浄化槽の設置を促進した。（5人槽:10基、7人槽:20基 計30基）

【県実施】

法定検査を受検せず、かつ、同検査の申し込みのない浄化槽管理者に対し、文書により受検を指導した。（受検指導数:25件）

法定検査結果が不適正な浄化槽管理者に対し、改善指導を行った。（改善指導数:1件）

(2) 産業系排水対策の推進（重点施策）

【県実施】

事業所が排出した化学物質等による地下水汚染が確認され、かつ、過去に環境基準値を超える汚染物質が検出された井戸を対象に、地下水質の定期的なモニタリングにより、井戸の経年水質検査状況を監視した。（1地点）

(3) 水質汚濁の事故対策の推進

【市・県・国実施】

油流出等防除資材を適切に配備し、油流出の際の被害防止・抑制に努めた。
また、油流出等の水質事故発生時において、原因者に対し、果たすべき役割・責任を果たすよう関連する対応・措置の徹底を図った。（油流出事故:3件）

(4) 海水循環対策の推進

【国実施】

大船渡港湾口防波堤復旧に係る環境保全対策の効果を監視するため、大船渡湾内の水質関連調査結果等をまとめた「大船渡港環境データ収集整理業務報告書」を作成した。

【市・県実施】

国の作成する「大船渡港環境データ収集整理業務報告書」の資料として、岩手県水産技術センターによる底質調査及び市による環境関連調査の測定データを提供した。

(5) 水質及びプランクトン等の調査研究の推進

【気仙広域連合実施】

し尿処理施設から排出される放流水の水質測定を定期的を実施し、良好な結果であることを確認した。

【市実施】

大船渡湾内水質の継続的な把握や、海水交流量の推定等に係る環境関連調査を実施した。

○海域調査(水質):10地点/年3回(7月～9月)

○海水交流量推定:塩分観測結果から算定

【県実施】

水質汚濁防止法に基づき、公共用水域(河川、海域)の水質調査を実施した。(市内7水域12地点)

○調査項目

生活環境項目(BOD、COD等)、健康項目(カドミウム、砒素等)、要監視項目(全マンガン等)

大船渡湾内において、漁場環境調査を実施した。

○定例観測

水質調査:水温、塩分、溶存酸素量、透明度等 6地点/年12回(4月～3月)

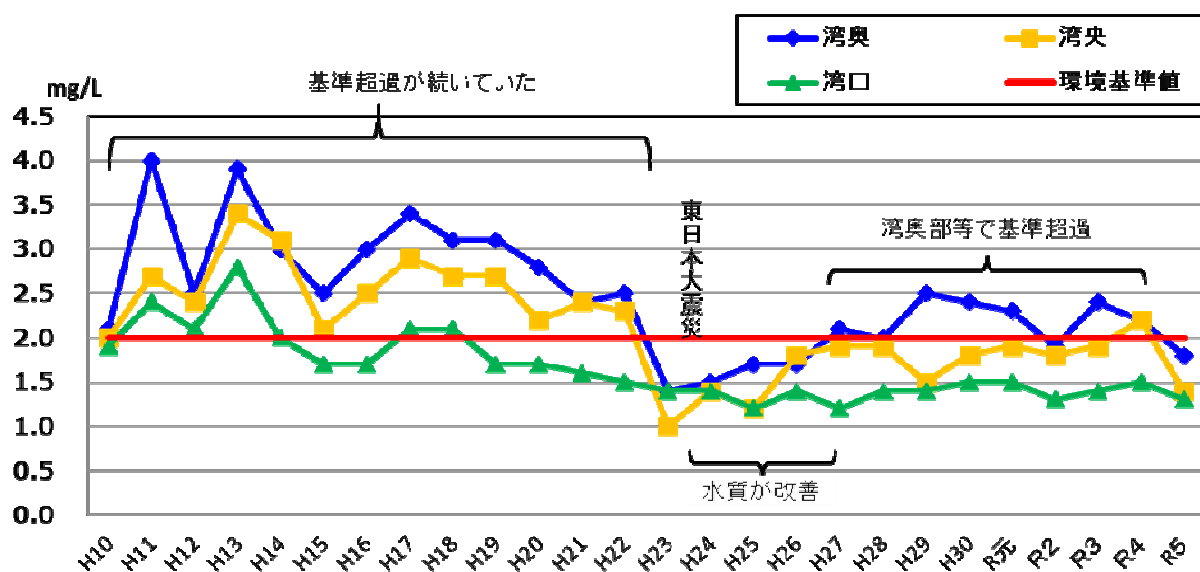
底質調査:粒度組成、硫化物量、COD、ベントス組成 6地点/年1回(10月)

【参考】

県の公共用水域水質調査における大船渡湾のCOD75%値及び環境基準達成状況(環境基準2.0mg/L)

年度		20	21	22	23 (注)	24	25	26	27	28	29	30	R元	R2	R3	R4	R5
湾奥	75%値 (mg/L)	2.8	2.4	2.5	1.4	1.5	1.7	1.7	2.1	2.0	2.5	2.4	2.3	1.9	2.4	2.2	1.8
	達成状況	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○
湾央	75%値 (mg/L)	2.2	2.4	2.3	1.0	1.4	1.2	1.8	1.9	1.9	1.5	1.8	1.9	1.8	1.9	2.2	1.4
	達成状況	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
湾口	75%値 (mg/L)	1.7	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.4	1.5	1.3
	達成状況	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※平成23年度は東日本大震災の影響により測定回数減



(6) 大雨時の湾内へ流入するごみ対策の促進（重点施策）

【市実施】

海洋ごみによる海岸機能の低下や環境・景観の悪化防止のため、関係機関と連携を図りながら、市管理漁港区域内等に流入したごみ等を回収・処理し、漁場環境の保全を図った。（回収用コンテナを市内漁港等9か所に設置、処理量：漁具、木くず等約12トン）

また、非常時に備え、漂着ごみ拡散防止用のオイルフェンスを配備した。（20m/本、10本）

県から受託した湾内清掃船「さんご丸」海面清掃業務を市が民間業者に再委託し、湾内流入ごみを回収した。（稼働日数：58.5日）

また、清掃船が回収したごみを適正に処理した。（処理量：2,120kg）

Ⅲ 環境に配慮した産業の振興と開発

1 環境に配慮した産業活動の促進

(1) 環境保全に係る協定の締結促進

【市・事業者実施】

地域の実情に即した環境の保全を図るため、事業者、地域等との環境保全協定の締結促進に向け、関係者に情報を提供（新規事業所等設置協議時の制度説明）。

令和5年度は、1事業所が地域等と環境保全協定を締結した。

(2) 環境と調和した産業の促進

【市実施】

公共事業等に使用する建設機械について、排気ガス量を削減するため、排出ガス対策型の機械を使用するよう市営建設工事受注業者に指示した。

また、公共工事等で発生するコンクリート・アスファルト殻について、産業廃棄物のリサイクル施設に運搬し、再生材として利用が図られるよう市営建設工事受注業者に指示した。

【事業者実施】

水産業・漁村が有する多面的機能の発揮に資するため、河川や藻場の環境保全活動等の促進を図った。（市内4漁協）

○河川環境保全：河川清掃、ヨシ刈払い等（盛川漁協）

○藻場環境保全：母藻設置、食害生物除去等（大船渡市漁協、越喜来漁協、吉浜漁協）

令和5年度の成果と課題

令和5年度は、現行の大船渡湾水環境保全計画の計画期間（2014年度～2023年度）が終了することから、令和6年3月に県が主体となって市と連携の下、次期計画（2024年度～2033年度）を策定した。策定に当たっては、これまでの取組状況等を踏まえるとともに、湾浄化に効果的である市民・事業者の排水対策を重点的に推進するため、施策体系の見直しを図った。

県が実施している公共用水域水質測定については、令和5年度の大船渡湾内のCOD値は、全地点で環境基準値である2.0mg/ℓを満足した。

大船渡湾は、いわゆる閉鎖性水域の地理的な特性等のため、長期的な推移を見るとCOD値が環境基準を超過する傾向にあることから、引き続き関連する調査を実施し、大船渡湾を取り巻く状況の変化を把握及び注視しつつ、改定後の大船渡湾水環境保全計画に基づき、各般の取組を積極的に推進する必要がある。

I みんなの参加とパートナーシップによる環境づくり

1 環境教育及び環境学習の推進

(1) 環境教育の推進

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	盛川の水生生物調査	盛川の水生生物を採取し、指標生物の数により水質の階級を判定するとともに、盛川の環境維持についての意識を育んだ。	日頃市小学校	8月23日	—	—	学校教育課
②	河川の水生生物調査	河川にすむ生物を観察することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育んだ。	猪川小学校	9月5日	—	—	学校教育課
③	須崎川の水生生物調査	須崎川の水生生物を観察することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育んだ。	大船渡小学校	8月25日	—	—	学校教育課
④	干潟の水生生物調査	尾崎神社奥造成海岸の干潟にすむ生物を観察することにより、身近な海岸の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育んだ。	赤崎小学校	6月6日	—	—	学校教育課
⑤	立根川の水質調査	立根川の水生生物を調査することにより、身近な河川の水質状況を認識するとともに、水質保全の意識を育んだ。	立根小学校	7月7日	—	—	学校教育課
⑥	立根川河川敷の清掃	立根川河川敷の清掃活動を実施し、環境保全への意識を育んだ。	立根小学校	5月下旬	—	—	学校教育課
⑦	浪板海岸の清掃	浪板海岸の清掃活動を実施し、環境保全への意識を育んだ。	越喜来小学校	7月17日	—	—	学校教育課
⑧	河川敷及び道路の清掃	盛川及び立根川河川敷と道路脇の清掃を実施し、地域の環境美化及び河川・湾浄化の大切さについて意識啓発を図った。	第一中学校	6月26日	—	—	学校教育課
⑨	須崎川及び野々田岸壁付近の清掃	須崎川及び野々田岸壁付近の清掃を通して、環境保全への関心・意欲等を育てた。	大船渡中学校	8月1日	—	—	学校教育課
⑩	わかめ養殖や造林体験	門之浜湾内養殖場で行うわかめの養殖体験や、国有林での造林体験を通じ、環境保全と湾浄化の大切さについて理解を深めた。	末崎中学校	12～2月	—	—	学校教育課
⑪	気仙広域連合衛生センターの施設見学	施設見学を受入れ、環境保全についての意識啓発を行う。(令和5年度見学申込なし)	気仙広域連合	通年	—	—	気仙広域連合衛生課
⑫	環境学習用教材の貸出し等及びインターネットによる広報	県環境学習交流センターを中心として、環境学習用教材の貸し出しや環境アドバイザー及び地球温暖化防止活動推進員の派遣を行い、地域の環境教育活動に努めた。	岩手県	通年	—	—	市民環境課
⑬	地域での環境保全活動事例等の情報発信	県環境学習交流センターのホームページで、地域の活動事例等の情報発信に努めた。	岩手県	通年	—	—	市民環境課
⑭	水生生物調査の奨励	水生生物調査を奨励するとともに、調査実施団体を支援した。(4団体)	大船渡市、団体	7月、8月	—	—	市民環境課
⑮	湾浄化・環境美化等の意識啓発	市広報紙に湾浄化・環境美化等に関する記事を掲載し、意識啓発を図った。	大船渡市	随時	—	—	市民環境課

(2) 指導者の養成

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	県・市町村職員等を対象とした水生生物調査の研修	県機関及び市町村の関係職員等を対象に、岩手県環境アドバイザーを講師として、水生生物調査研修会を開催し、調査の普及啓発や指導に必要な知識・技術の習得を図った。	岩手県	6月12日	—	—	市民環境課

(3) 環境ボランティア活動の支援と育成

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	環境ボランティア活動への物品貸出等の支援	清掃ボランティア活動に対し、啓発用品(軍手)やゴミ袋の配布等の支援を行った。(ゴミ袋配布枚数:760枚)	大船渡市 大船渡市公衆衛生組合連合会 大船渡市環境保全推進協議会	通年	—	—	市民環境課
②	各種団体による清掃ボランティアの実施	市内の各種団体において、道路、河川、海岸等の清掃ボランティア活動を実施した。(8団体)	市内のボランティア団体	通年	—	—	市民環境課
③	大船渡市環境保全推進協議会への事業費助成	大船渡市環境保全推進協議会に対して助成し、清掃活動や湾内汚濁防止活動等の推進を図った。	大船渡市 (大船渡市環境保全推進協議会)	通年	100	市	市民環境課
④	大船渡市公衆衛生組合連合会への事業費助成	大船渡市公衆衛生組合連合会に対して助成し、清潔な生活環境づくり等の推進を図った。	大船渡市 (大船渡市公衆衛生組合連合会)	通年	400	市	市民環境課

Ⅱ 健全な環境の確保

1 水資源の確保と水辺の自然環境保全

(1) 森林等の水源かん養機能の向上・保全（重点施策）

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	森林所有者への森林経営計画の指導等 市有林の間伐の実施	市森林整備計画により、森林所有者に対して森林の整備の目標や保全すべき森林等の区分を示すなど、森林経営計画の作成にあたって指導や助言を行い、森林の適正な管理を促進した(指導回数:1回)。 市有林の間伐等を実施し、森林等の水源かん養機能の向上・保全に努めた。(実施面積59.1ha)	大船渡市	通年	26,670	国・県・市	農林課

(2) 水辺の多様な生態系の確保（重点施策）

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	盛川の水生生物調査	(再掲 I-1-(1) ①参照)					学校教育課
②	河川の水生生物調査	(再掲 I-1-(1) ②参照)					学校教育課
③	須崎川の水生生物調査	(再掲 I-1-(1) ③参照)					学校教育課
④	干潟の水生生物調査	(再掲 I-1-(1) ④参照)					学校教育課
⑤	立根川の水質調査	(再掲 I-1-(1) ⑤参照)					学校教育課
⑥	立根川河川敷の清掃	(再掲 I-1-(1) ⑥参照)					学校教育課
⑦	河川敷及び道路の清掃	(再掲 I-1-(1) ⑦参照)					学校教育課
⑧	河川敷及び道路の清掃	(再掲 I-1-(1) ⑧参照)					学校教育課
⑨	須崎川及び野々田岸壁付近の清掃	(再掲 I-1-(1) ⑨参照)					学校教育課

(3) 河川等の環境整備と保全

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	市内一斉清掃	一般家庭の周辺、地域の道路及び側溝、河川等の清掃を対象とする市内一斉清掃を実施し、快適な生活環境の確保に努めた。(参加者数:7,446人)	大船渡市	6月4日 6月11日	994	市	市民環境課
②	市道や附帯施設の修繕及び維持管理	安全で快適な市道環境を確保するため、市道及び市道に附帯する交通安全施設、側溝等の修繕・維持管理を実施した。	大船渡市	通年	108,737	市	建設課

Ⅱ－２ 水環境の保全

(1) 生活系排水対策の推進（重点施策）

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	廃棄物の資源化、リサイクルの推進	集団資源回収奨励金の交付等を通じて、ごみの減量化や資源化、資源古紙等のリサイクルの推進に努め、ごみの適正処理について意識啓発を図った。	大船渡地区環境衛生組合	通年	—	大船渡地区環境衛生組合	大船渡地区環境衛生組合
②	生活排水の処理に関する意識啓発	市広報誌に生活排水の処理(浄化槽の普及)に関する記事を掲載するほか、FMねまらいんやSNSなどを活用し、湾浄化に対する意識啓発を図った。	大船渡市	4月、7月、9月、11月、3月	—	—	下水道事業所
③	下水道(水質浄化)に対する住民の意識啓発	市広報誌やSNSなどを活用し、下水道事業と水質浄化について意識啓発を図った。 民間事業所等が設置する除害施設(グリストラップ)の清掃状況の調査を実施し、啓発及び改善指導を行った。 (調査件数58件、要改善事業所16件。要改善事業所は前年より22件減)	大船渡市	意識啓発:4月、7月、9月、11月、3月 調査:11月実施	—	—	下水道事業所
④	公共下水道施設の適正管理	公共下水道施設(下水道管渠、大船渡浄化センター及び都市下水路)の適正な維持管理により、生活排水を適切に処理した。	大船渡市	通年	160,037	市	下水道事業所
⑤	公共下水道管渠の整備・拡大	大船渡町、猪川町、立根町及び赤崎町の管渠整備等を行い、公共下水道の整備・拡大を図った。(整備面積:12.12ha)	大船渡市	通年	514,411	国・市・地方債	下水道事業所
⑥	水洗化改造資金に係る融資あっせん及び利子補給制度等の活用促進	市広報誌やSNSなどを活用し、下水道使用可能区域、水洗化改造資金融資あっせん及び利子補給制度等を紹介し、制度活用の促進による下水道の普及を図った。(新規申請:3件)	大船渡市	9月、3月	166	市	下水道事業所
⑦	浄化槽設置に係る適正な維持管理の指導	浄化槽管理者に対し、法に基づく保守点検・清掃・法定検査等、適正な維持管理の実施について文書指導を行った。	岩手県	随時	—	—	市民環境課
⑧	浄化槽の法定点検の受検指導	法定検査を受検せず、かつ、同検査の申し込みのない浄化槽管理者に対し、文書により受検を指導した。(受検指導数:25件)	岩手県	通年	—	—	市民環境課
⑨	法定点検結果が不適正な浄化槽の改善指導	法定検査結果が不適正な浄化槽管理者に対し、改善指導を行った。(改善指導数:1件)	岩手県	通年	—	—	市民環境課
⑩	市内一斉清掃	(再掲 Ⅱ－１－(3) ①参照)					市民環境課
⑪	化学物質の排出情報等の公表	PRTR(※)排出・移動量データを県ホームページで公表し、化学物質のリスクコミュニケーションの推進に努めた。 (※ 化学物質排出・移動量届出制度。どんな化学物質が、どこから、どれだけ排出されているかを知るための仕組み。)	岩手県	通年	—	—	市民環境課
⑫	不法投棄等防止パトロール	衛生監視員によるパトロールを行い、海岸・河川付近等の不法投棄されたごみの回収を行った。(衛生監視員34名)	大船渡市	通年	2,797	市	市民環境課
⑬	不法投棄防止看板等設置	海や河川等への不法投棄等の未然防止のため、啓発看板を13基、不法投棄防止ネットを1か所(猪川町字今出)に設置した。	大船渡市 大船渡市公衆衛生組合連合会 大船渡市環境保全推進協議会	通年	—	—	市民環境課
⑭	市道や附帯施設の修繕及び維持管理	(再掲 Ⅱ－１－(3) ②参照)					建設課
⑮	気仙広域連合衛生センター施設の適正管理	包括委託による施設の維持管理により、し尿等の処理が適正かつ安定的に行われた。	気仙広域連合	通年	157,422	気仙広域連合	気仙広域連合衛生課
⑯	私道の排水処理施設工事の助言	良好な市街地の形成に資するため、宅地造成等に伴って築造される私道の排水処理について、適切な計画により工事施工するよう申請者に対して助言した。	大船渡市	通年	—	—	住宅管理課
⑰	建築確認申請時の汚水処理や放流先等の適正処理の助言	汚水及び雑排水を適切に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を推進するため、建築確認申請時に、汚水の処理や放流先等について関係課と調整を図りながら申請者に対して助言した。	大船渡市	通年	—	—	住宅管理課
⑱	工業用地等の開発行為に伴う排水処理の指導	工業用地等の3,000㎡以上の開発行為に伴う排水処理について、環境に影響を及ぼさずに適切な土地利用が図られるように指導を行う。(指導件数:0件)	大船渡市	通年	—	—	土地利用課
⑲	浄化槽設置に対する助成	生活排水対策として浄化槽の設置を推進するため、設置費用を助成した(5人槽10基、7人槽20基、計30基)。	大船渡市	通年	18,496	国・県・市	下水道事業所

Ⅱ－２－(2) 産業系排水対策の推進（重点施策）

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	ごみ処理施設周辺の環境美化等	ごみ処理施設の環境測定や排水処理設備の維持管理を行い、施設の適正な管理に努めるとともに、施設周辺の草刈や排水路清掃等を実施し、環境美化を図った。	大船渡地区 環境衛生組合	通年	2,370	大船渡地区 環境衛生組合	大船渡地区 環境衛生組合
②	下水道(水質浄化)に対する住民の意識啓発	(再掲 Ⅱ－２－(1) ③参照)					下水道事業所
③	公共下水道施設の適正管理	(再掲 Ⅱ－２－(1) ④参照)					下水道事業所
④	公共下水道函渠の整備・拡大	(再掲 Ⅱ－２－(1) ⑤参照)					下水道事業所
⑤	水洗化改造資金に係る融資あっせん及び利子補給制度等の活用促進	(再掲 Ⅱ－２－(1) ⑥参照)					下水道事業所
⑥	浄化槽設置に係る適正な維持管理の指導	(再掲 Ⅱ－２－(1) ⑦参照)					市民環境課
⑦	浄化槽の法定点検の受検指導	(再掲 Ⅱ－２－(1) ⑧参照)					市民環境課
⑧	法定点検結果が不適正な浄化槽の改善指導	(再掲 Ⅱ－２－(1) ⑨参照)					市民環境課
⑨	市道や附帯施設の修繕及び維持管理	(再掲 Ⅱ－１－(3) ②参照)					建設課
⑩	工業用地等の開発行為に伴う排水処理の指導	(再掲 Ⅱ－２－(1) ⑬参照)					土地利用課
⑪	畜産業における汚濁水の河川流出防止指導	農林業経営者及び農業団体が営む事業、特に畜産業における汚濁水が河川に流出しないよう指導した。	大船渡市	通年	—	—	農林課
⑫	林地開発行為に伴う汚濁水の河川流出防止指導	林地開発行為(10,000m ² 超)による汚濁水が河川に流出しないよう、また、環境が破壊されないよう指導・監視した。	大船渡市	通年	—	—	農林課
⑬	地下水質定期モニタリング	事業所が排出した化学物質等による地下水汚染が確認されている井戸で、過去に環境基準値を超える汚染物質が検出された井戸を対象に地下水質の定期的なモニタリングを行い、井戸の経年水質検査の監視をした。(1地点)	岩手県	通年	—	—	市民環境課
⑭	公共下水道に接続し事業を行う事業者への補助金交付	大船渡湾への負荷の軽減を図り、水環境を保全するため、多量の汚水を排水する事業者が公共下水道に接続し事業を行う場合に補助金を交付する。令和5年度で事業終了。(補助件数:0件)	大船渡市	通年	—	市	市民環境課 下水道事業所

(3) 水質汚濁の事故対策の推進

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	水質事故発生時の原因者の役割・責任の周知徹底	油流出等防除資材を適切に配備し、油流出の際の被害防止に努めた。 また、油流出時等の水質事故発生時において、原因者に対し、原因者の果たすべき役割・責任について、周知徹底を図った。	大船渡市 岩手県 釜石海上保安部	通年	—	—	市民環境課 企業立地港湾課
②	油流出事故による水質汚濁の拡散防止	オイルフェンスを配備し、油流出事故の際は水質汚濁の拡散防止に努めた。(油流出事故:3件)	岩手県	通年	—	—	市民環境課 企業立地港湾課

Ⅱ－2－(4) 海水循環対策の推進

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	大船渡湾内環境保全対策の効果監視	大船渡湾湾口防波堤復旧に係る環境保全対策の効果を監視するため、大船渡湾内の水質調査結果を収集した「大船渡湾環境データ収集整理業務報告書」を作成した。 県及び市は、県水産技術センターが行う底質調査及び市が行う環境関連調査の測定データを提供した。	国	通年	—	—	企業立地港湾課 市民環境課

(5) 水質及びプランクトン等の調査研究の推進

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	気仙広域連合衛生センター放流水の水質測定	し尿処理施設から排出される放流水の水質検査を定期的の実施し、法令基準を完全に満たす数値であることを確認した。	気仙広域連合	通年	1,868	気仙広域連合	気仙広域連合 衛生課
②	大船渡湾関連水質等調査	大船渡湾内水質の継続的な把握や、海水交流量の推定など環境関連調査を実施した。 ○海域調査(水質):10地点/年3回(7月～9月) ○海水交流量推定:塩分観測結果から算定	大船渡市	7～9月	3,013	市	市民環境課
③	公共用水域測定調査	水質汚濁防止法に基づき、公共用水域(河川、海域)の水質調査を実施した。(市内7水域12地点) ○生活環境項目:BOD、COD等13項目 ○健康項目:カドミウム、砒素等27項目 ○要監視項目:全マンガン等31項目	岩手県	通年	—	—	市民環境課
④	大船渡湾漁場環境調査	大船渡湾内において、漁場環境調査を実施した。 ○定例観測 水質検査:水温、塩分、酸素飽和度、透明度等について調査 6地点/年12回(4～3月) 底質調査:粒度組成、硫化物量、COD、ペントス組成 6地点/年1回(10月)	岩手県	通年	—	—	水産課

(6) 大雨時の湾内へ流入するごみ対策の促進(重点施策)

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	市管理漁港区域内のごみ回収・処理	海洋ごみによる海岸機能の低下や環境・景観の悪化防止のため、関係機関と連携を図りながら、市管理漁港区域内等に漂流・漂着する海洋ごみの回収・処理を行い、漁場環境の保全に取り組んだ。 ○漂流・海底ごみ回収用コンテナ設置(市内漁港等9カ所) ○漂着ごみの回収処理(処理量:漁具、木くず等約12t) ○漂着ごみ拡散防止用オイルフェンス購入(20m/本、10本)	大船渡市	通年	5,507	県、市	水産課
②	大船渡湾内清掃船運航	県から受託した湾内清掃船「さんご丸」海面清掃業務を、市が民間業者に再委託を行い、湾内流入ごみの回収を行った。(稼働日数:58.5日)	大船渡市	通年	5,769	県、市	市民環境課
③	大船渡湾内清掃船回収ごみの処理	清掃船が回収したごみを適正に処理した。(処理量:2,120kg)	大船渡市	通年	330	県、市	市民環境課

Ⅲ 環境に配慮した産業の振興と開発

1 環境に配慮した産業活動の促進

(1) 環境保全に係る協定の締結促進

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	環境保全協定締結の促進	地域の実情に即した環境の保全を図るため、事業者、地域等との環境保全協定締結の促進に向け、情報提供(新規事業所等設置協議時の制度説明)を行う。(協定締結件数:1件)	大船渡市事業者	通年	—	—	市民環境課

(2) 環境と調和した産業の促進

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	環境影響評価情報の提供	環境影響評価に係る情報を県ホームページ内に掲載し、市民、事業者等への環境影響評価情報の提供に努めた。	岩手県	通年	—	—	市民環境課
②	農業経営基盤強化資金の利子補給	農業経営基盤強化資金を活用して、鶏舎、排水処理施設及び尿溜施設等を整備した農業者に対し、利子補給金を助成する。(助成件数:0件)	大船渡市	通年	—	—	農林課
③	漁場環境保全の実施	水産業・漁村のもつ多面的機能の発揮に資する活動として、河川環境の保全や藻場の保全等の事業を行った。 ○河川環境保全(河川清掃、ヨシ刈払い等:盛川漁協) ○藻場環境保全(母藻設置、食害生物除去等:大船渡市漁協、越喜来漁協、吉浜漁協)	各漁協	通年	1,249	国・県・市	水産課
④	公共工事等における建設機械の排ガス抑制	公共事業等を使用する建設機械について、排気ガス量を削減するために排出ガス対策型の機械を使用するよう、市営建設工事受注者に対し指示した。	大船渡市	通年	—	—	建設課
⑤	公共工事等におけるリサイクル促進	公共工事等で発生するコンクリート・アスファルト殻について、産業廃棄物のリサイクル施設に運搬し、再生材として利用するよう、市営建設工事受注者に対し指示した。	大船渡市	通年	—	—	建設課

○計画の推進

計画の推進と進行管理

(1) 計画の進行管理

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	大船渡湾水環境保全計画に係る会議の開催	大船渡湾水環境保全計画に基づく施策や取組を推進するため、「大船渡湾水環境保全計画推進本部会議」及び「大船渡湾水環境保全計画推進協議会」を開催し、事業の実施状況や数値目標の達成状況等を点検した。 また、「大船渡湾水環境保全計画」の改定について意見を伺った。 (推進本部会議:8月9日・11月28日、推進協議会:9月1日・12月26日開催)	大船渡市	8月～9月 11月～12月	145	市	市民環境課

(2) 各種計画との連携

No.	事業・取組	事業実績	事業主体	実施期間	事業費(千円)	財源内訳	担当課
①	環境関連計画との連携	排水対策や湾内ごみ対策等の取組を行ったことにより、大船渡市環境基本計画に掲げる「水の環境」に関する取組にもつながった。	大船渡市	通年	—	—	市民環境課